

子どもが 被害にあったとき

～家族が支える、家族を支える～

ある日突然、大切な子どもが理不尽な事件・事故で亡くなった…
大けがを負わされた…

事件・事故の被害にあった家族に対する支援体制はまだ十分ではありません。多くの家族が被害後にふりかかる様々な問題に、自分たちだけで立ち向かっているのが現状です。なかでも被害者の兄弟姉妹の声は今までほとんど私たちに届くことはありませんでした。

今回のシンポジウムでは、特に社会に発信することが難しい兄弟姉妹の声に耳を傾け、どのような支援が必要なのか考えてみましょう。

日時	2014年11月29日(土) 13:30～16:30 (開場13:00)
場所	大阪市立阿倍野区民センター小ホール (裏面地図参照)
パネリスト	市原 千代子 [犯罪被害者遺族(母)・おかやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ理事] 坂口 まゆみ [犯罪被害者遺族(姉)・全国犯罪被害者の会(あすの会)]
コーディネーター	楠本 節子 [大阪被害者支援アドボカシーセンター]
共催	大阪府、大阪市、堺市、大阪府警察
後援	大阪府被害者支援会議、大阪弁護士会、大阪府臨床心理士会、 大阪私立中学校高等学校連合会



参加費無料
先着順

●お問い合わせは……

大阪府公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体 認定NPO法人 大阪被害者支援アドボカシーセンター ☎06-6771-7600

このシンポジウムは「大阪信用金庫ふれあいスマイル基金」の助成を受けて開催します